

令和4年度 第4回国分寺市介護保険運営協議会 会議録

令和5年1月10日（火）

午後7時～午後7時43分

いずみプラザ 講座室

協議会次第

1 開会

- ①委員の交代について（資料1）

2 報告

- ①国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会の報告について（資料2～10）
- ②国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況評価（令和3年度）について（資料11）
- ③介護認定率・給付月額・受給率等から見る国分寺市の状況について（資料12）
- ④隣接市の地域密着型サービス事業所の指定について（資料13）
- ⑤その他

3 閉会

出席者等（敬称略）

会 長…… 橋本 正明

副会長…… 本多 勇

委 員…… 林 博巳, 升田 範夫, 森 弘達, 分部 文恵, 富樫 美紀,
清水 桂司, 前出 禎造, 北邑 和弘, 加地 裕武, 奥山 尚,
富井 友子

事務局…… 福祉部長（横川）, 高齢福祉課長（澤田）, 計画・事業推進係長（佐瀬）,
介護保険係長（北田）, 計画・事業推進係（小野）, 計画・事業推進係
（大嶽）

1 開会

○令和5年1月10日付けで、山田委員の後任として前出委員を委嘱したことを報告

2 報告

①国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会の報告について

橋本 会長… 報告の1番、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会の報告について、事務局、説明をお願いいたします。

計画・事業推進係 大嶽… 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会の報告について、御報告させていただきます。資料2をお願いいたします。

昨年の12月22日に高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に関し必要な事項を調査検討する、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会、以下「策定検討委員会」と申し上げますが、こちらの第1回の委員会を開催いたしました。ご覧いただいている資料2は、その策定検討委員会の次第でございます。裏面の資料3につきましては、策定検討委員会の委員名簿で、委員構成は、公募により選出された市民の方や識見者、関係団体の代表者などとなっております。

第1回の策定検討委員会では、今年度、介護保険運営協議会の委員の皆様から御意見を伺って作成した各種基礎調査の調査票について、資料4から資料10までの内容でお示しし、こちらの内容で決定となりました。なお、調査票は2月上旬に発送を予定しております。

当日、策定検討委員会の委員からは、「国の設問から変更した設問はあるのか」といった御質問や「介護職員等調査の回収率が上がるように努めてほしい」という御意見をいただきました。

御報告については以上となります。

橋本 会長… 私どもも検討を少しさせていただきましたアンケートで調査をして、それがベースの一つになって計画を策定することになるかと思えます。

委員長はどなたにお決まりになりましたか。

佐瀬 係長… 委員長は、識見を有する者である佐藤信人委員に、副委員長は、地域包括支援センターの代表者である石川聖子委員に決まりました。

升田 委員… 質問というか、この会議は運営協議会で、ずっと議論して活動しています。一方で、策定検討委員会というものが別にあります。この運営協議会でやってはいけないのでしょうか。ほかの委員会では活動計画も評価も一つの会議でやっていたのですが、介護保険のここだけは検討委員会が別途あります。こういう活動は法律で決まっているのか、そのあたりの背景を知りたいです。

橋本 会長… 私も実は別の自治体で運営委員会と計画策定が一緒になっている例を知っています。国分寺市には国分寺市の考えがあってということで、事務

局、御説明をいただけますでしょうか。

佐瀬 係長… 介護保険運営協議会については、介護保険条例で所掌事務などが決まっているのですが、基本的に介護保険制度についての協議会になります。一方で、市の高齢者に関する計画は介護保険のことに限った話ではない部分があります。介護保険制度に関わる部分については、もちろん介護保険運営協議会でも御意見をいただきます。一方で、市の計画としては国分寺市高齢者保健福祉計画と国分寺市介護保険事業計画という二つの計画が一つになっております。主に、いわゆる高齢者福祉に関することについては、もちろん重複する部分はあるのですが、介護保険運営協議会での所掌から外れた部分になります。そういうこともありまして、過去に策定検討委員会というのを別で立ち上げて、そちらで総括をして、こちらの計画を策定するという形を取っています。

升田 委員… 検討項目が決められていると、運営する段階では触りようがないところが結構あるんですね。評価はこうすると決まっていると、後で評価等検討委員会でやろうにもそこができなくなってしまう。

一番関わっているのはこの運営協議会だと思います。できれば、策定検討委員会の中間報告をこの場で出してもらって交流できるような形にできませんか。委員長に運営協議会に出席してもらって説明してもらおうとか、ここの状況を知ってもらうということもできないかなと思います。この会議に合同してやるのが一番いいはずなのです。いろいろな意見が出ますから。ほかの会議では運営委員会そのものが計画を作っている会議もありますから、本来そうあるほうがより具体的な活動に関して検討できるだろうと。だから、少なくとも途中報告とか、案がまとまった段階でその状況を報告してもらいたいと感じます。

橋本 会長… 国分寺市としては、この協議会は基本的には介護保険の運営に関することが所掌になっているわけで、計画づくりはもうちょっと広く高齢者福祉計画全体に関わっているので別の委員会を設けているということだろうと思います。しかし、この協議会と計画については深く関連します。それはこの協議会で1年半かけて議論してきたこと、またアンケートの内容についてもここで検討したことでありますし、ぜひ策定検討委員会での検討状況についてもこの協議会で御報告いただけるように取り計らっていただければと思いますが、事務局、いかがでしょうか。

佐瀬 係長… 計画の策定年度、来年度になるのですが、介護保険運営協議会の回数を増やしております。計画の策定年度には、例年、策定検討委員会の会議の内容についての御報告を、その都度、介護保険運営協議会の報告や議題に入れて、介護保険運営協議会と策定検討委員会の双方の意見を聞いて仕上げていくという形を取っておりますので、基本的にはそういう形を取って

いるという認識でおります。

橋本 会長… そんなことで御了解いただければと思います。

この件についてそのほか何か御質問、御意見ございますでしょうか。アンケートの内容については、本日の資料4から10として確定版が配布されておりますが、協議会で何回かかけて御検討いただいたものになっていると考えています。

林 委員… 資料5の在宅介護実態調査には、「個人情報の取扱いについて」という項目と同意書がありますが、例えば資料4の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査にはこれらがありません。これは何か違いがあるのでしょうか。

佐瀬 係長… この各種基礎調査では、個人を特定できるような形で情報を収集しないということが前提にあります。しかし、在宅介護実態調査については、調査対象者が要支援又は要介護認定を受けた方で、その認定がされたときの情報、例えば認定調査のときに5メートル続けて歩くことができるかなどの調査を行うのですが、その情報と突き合わせをして分析する作業があるため、在宅介護実態調査に関してだけは個人が特定できる状態で調査を行うこととなります。したがって、資料5の2ページに、調査内容と認定情報について、計画の策定及び介護保険事業に使用することについての同意書欄を設けている形になります。

林 委員… 要介護度を書かなければいけない場合は、個人情報として扱うということですか。

橋本 会長… 個人が特定されてしまうということですね。

佐瀬 係長… 在宅介護実態調査の質問事項の回答と、それとは別に要介護の認定をするときに調査員が直接自宅などに伺って調査を行うのですが、その結果を突き合わせて分析を行います。例えば先ほども申し上げた5メートル続けて歩くことができるかどうか、それができない人については、買い物についての設問ではどのような回答をしているか、そのようなことを見比べて分析していく作業があります。そのために、今回の在宅介護実態調査での回答とは別に、介護認定時の情報についても使わせていただくことについての同意を取っているという意味になります。

林 委員… 分かりました。

橋本 会長… 事務局、このアンケートの内容の変更点について、補足や説明することはございますか。

佐瀬 係長… 細かいところで何点かありますが、例えば資料4、ニーズ調査の8ページ、一番上の(3)①「携帯電話やスマートフォンを利用していますか」の設問の3番の選択肢が「メール・電話・ウェブ検索のみ利用」となっていました。機能としてはそれで全部なのではないかという御意見をいただきました。確かにそのとおりだと思いましたが、「のみ」ではなく

「など」に変更しています。

また、複数の調査に関わってきますが、性別の設問についても御意見をいただきました。検討した結果、特に改めて聞く必要はないのではないかとということになりましたので、設問自体を削除しています。

ほかに、同じくニーズ調査の3ページの「調査票を記入されたのはどなたですか」という項目の選択肢3番に「その他」がありますが、もともと括弧がなかったものに括弧を付け加えております。

最後に、同じニーズ調査の3ページ、下の部分に、事業対象者についての説明を加えています。単に「事業対象者」と書くだけでは分かりにくいので、「介護保険の被保険者証に記載があります」と追記しております。

升田 委員… 資料4の4ページの②「主にどなたの介護、介助を受けていますか（あてはまるものすべてに○）」という設問があり、その下に③として「②の方の年齢を教えてください」とあります。②で複数の回答を選択したら、③でも複数回答をすることになりますよね。それがちょっと気になって、自分で一応全部の設問に答えてみたのです。そうするとこの設問はどうするのだろうというのが実際にありましたので。次回の調査で直してもいいのですが、ちょっと気になっています。

佐瀬 係長… こちらについては事務局としても悩んだ部分であります。例えば息子と娘が介護をしていて二人とも20代の場合、あるいは息子が二人いて20代と30代の場合、いずれの場合でも回答が完璧になることはありません。どの年代の方が介護に関わっているのかを見るために、年代についても、あてはまるもの全てに回答をしてもらう形でいいのかなというところです。

橋本 会長… 主な介護者は誰かということだから、そんなにたくさんいるということはないと思います。

林 委員… これまでの議論で出たかもしれないのですが、調査する人数の書き方についてです。資料4であれば3,600人、資料5であれば1,200人、資料6であれば300人と対象人数が調査票に書いてあります。一方、資料7、8、9、10には、対象人数や対象施設数についての記述はありません。調査の際は、おそらく毎回対象者を抽出していると思いますが、対象者数について資料7以下に記述がないというのは、何か趣旨や判断基準があるのでしたか。調査を受ける側からすれば、対象者数が書いてあったほうが、どのような範囲で調査を行っているかということについての理解が深まるのではないのでしょうか。

佐瀬 係長… 資料4、資料5、資料6は、基本的には市民に対する調査になりますが、対象者を抽出して行っております。一方、介護保険事業者調査については、市内の事業者連絡会に所属している全事業者が対象になっております。介護支援専門員調査についてもケアマネジャー連絡会に所属しているケアマ

ネジャー全員が対象になっておりますので、書き方を変えている部分があります。例えば市民の方にニーズ調査の調査票が届いたときに、私には届いたがお隣には届いていないということがあると、こういうことは書いておかないと混乱を生むのではないかと考えて、書いているものになります。

林 委員… そうでしたね。組織化されていますから、人数はもう想定されていて、前提としてあるわけですね。

橋本 会長… では、よろしゅうございますでしょうか。この協議会での論議を生かしてくださっているということだと思います。大変に活発な御議論を頂きましてありがとうございました。

②国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況評価（令和3年度）について

橋本 会長… 2番目の報告、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況評価（令和3年度）について、御説明をよろしくお願いいたします。

佐瀬 係長… 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画進捗状況評価（令和3年度）について、御報告いたします。資料11をご覧ください。こちらが令和3年度の計画の評価票になります。令和3年度は第8期計画の1年目に当たりまして、今期計画の1回目の評価になります。評価については、昨年7月19日と8月23日に開催した国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会で御意見を頂きまして、最終的に令和3年度の評価として決定したことになります。

1枚おめくりいただいて、1ページには、第8期計画の評価の考え方について記載しております。こちらについては、昨年度御報告しました第7期計画の評価と変わっておりませんので、説明は省かせていただきます。

次のページに総括表がございます。こちらは施策の方向ごとの進捗状況を総括したものになっていまして、19個の施策の方向全てが「おおむね目標どおり進行している」という評価だったということを表しています。

各施策の方向の評価について一つずつ御説明しますと時間がかかってしまうので、資料からお読み取りいただければと思います。全体的にやはり新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、指標を設定している重点事業についても、事業自体はいろいろと工夫して実施したものの、目標数値を下回ってしまったものがありました。しかし、評価等検討委員会では、そのような状況の中でも事業を実施していること自体は評価しているのではないかといい御意見を頂いております。その結果、全ての施策の方向が「おおむね目標どおり進行している」となっている状況です。

第8期計画の進捗状況評価について、御報告は以上になります。

橋本 会長… 既に評価を確認した事項でございますが、何か御質問はございますか。基本的に順調に現在の計画は進んでいるということで御了解いただければ

と思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で、どの現場でもなかなか思うようにいかなかったことがあるのは確かなことですが、それを踏まえても前進していると御理解いただければと思います。

③介護認定率・給付月額・受給率等から見る国分寺市の状況について

橋本 会長… 3番目の報告、介護認定率・給付月額・受給率等から見る国分寺市の状況について、事務局、御説明をお願いいたします。

北田 係長… 介護認定率・給付月額・受給率等から見る国分寺市の状況について、御説明させていただきます。資料12をご覧ください。

まず、この表についてですが、国分寺市の調整済み認定率、受給率、第1号被保険者1人あたり給付月額等を、全国平均、都平均等と比較することで、国分寺市の状況を把握して考察しようとするものです。

今回の表の数値などから国分寺市全体としては、国分寺市の被保険者は重度化防止を意識して生活していると考えられることがうかがえます。しかしながら、国分寺市においても他の自治体と同様に認定者数が増加傾向であることから、介護予防事業や総合事業等の推進、要介護認定の適正化等を継続して行っていく必要があると考えます。

また、居住系サービスの選択に当たっては、利用者の方のお考えを尊重した上で、同選択時において利用者の方が自身に合ったサービス内容になるように、ケアマネジャー等とともに適切な情報提供に努める必要があると考えています。

以上、簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

橋本 会長… 国分寺市の状況、都の平均、全国平均、近隣自治体で立川市、小金井市との比較もできるようになっております。この内容についての御質問はございますでしょうか。本多副会長、何か気がつかれたことはございますか。

本多 副会長… 特にこれといっていないのですが、この居住系サービスというキーワードが出てきて、有料老人ホーム系が増えているという指摘の中で、ちょっと増えているというところですが、ここと重度化防止の意識が高いというのはどうくっつけて考えればいいのかというのが1点。

それから、施設整備について老人保健施設の公募への応募がなかなか来ないという話がずっと前からあったと思いますが、入所系のリハビリテーションだけでなく、重度化予防につながると思うのですが、リハビリテーションを利用する中で体調を維持するところが実際にあるのかどうか。また、老健の応募が来ないことをどう穴埋めしていくかというところは思考に入れておかないといけないところかなと思いました。

直接こことつながるかどうかは分かりませんが、キーワードからそんな

ことを考えました。以上です。

- 橋本 会長… 老健の公募については事業者が決まったのですか。
- 佐瀬 係長… 今回の報告事項とは別の件になりますが、老健の募集を昨年12月16日までの募集期間で行っていましたが、残念ながらまた応募がありませんで、応募事業者ゼロという結果になってしまいました。やはり土地がどうしてもないということで、もともとお問合せいただいていた事業者もありましたが、いざ募集をかけたら応募いただけなくて、こちらから連絡もさせていただいたのですが、最終的には応募がありませんでした。
- 橋本 会長… そのほか何かお気づきの点、御質問ございますでしょうか。
富井委員，何か御感想などございますか。
- 富井 委員… 本多副会長がおっしゃったとおりなのですが、私も老健のことをちょっと気にしていたのと、国分寺市の被保険者の重度化防止をして施設を利用せずに済んでいるという表現も適切なのかなどかが、この資料だけでは分からないところがありました。利用したくても数がないのか、できるだけ利用しないように頑張っていらっしゃるのか、そういったニーズはこちらの資料から見えないので。
- 橋本 会長… 資料の中の「全国平均等との乖離についての理由・問題点等の考察」についてはなかなか苦労されたと思います。
- 本多 副会長… プラス思考で考えればそうですけど。逆の見方で考えるということかと。
- 橋本 会長… よろしゅうございますでしょうか。こういう状況にあるということを御了解いただければと思います。ありがとうございました。

④隣接市の地域密着型サービス事業所の指定について

- 橋本 会長… 4番目の隣接市の地域密着型サービス事業所の指定については、事務局の説明は省略ということで資料13がついております。御承知のように、ほかの市にある事業所を国分寺市民も利用できるというものになります。今回は資料にあるとおりの4事業所となります。何かお気づきの点などございますか。
- 林 委員… これを見て思ったのは、そもそも国分寺市内の事業所の数が十分ではなく、隣接市のほうの承認をどんどん増やしているというイメージがちょっとあるのですね。現在、隣接市で認めている事業所は何か所ぐらいあるのですか。20とか30ですか。
- 橋本 会長… そんなに多くはないと思います。本日の資料ではデイサービスが3事業所ありますが、どこの事業所を利用するかはお住まいの場所との関係が大きいと思います。
富樫委員，今の御質問，市内の事業所数やほかの市の事業所を使わなけ

ればいけない理由について、お感じになっているところはございますか。

富樫 委員… 在宅の訪問介護でもあるのですが、ケアマネジャーと相談してできるだけ御本人のニーズに見合ったところ、事業所の規模や特色はそれぞれ違いますので、近隣他市で送迎の範囲が可能であれば、そちらを御利用しているという方も多くいらっしゃいます。中には御近所のことを気にされる方もいらして、介護保険を利用していると御近所同士で、あの方はどこどこに行っているようだとか、そういうお話が出ることもありますので。

林 委員… だから、数の問題ではないのですよね。

橋本 会長… そうですね。

林 委員… それぞれの利用者にとって何が良いのかと考えたときに、市外の事業所も入ってくるということですよ。

富樫 委員… 御本人様の御希望と送迎の範囲が見合っていれば、事業者としては対応してくださっているようなので、御近所のすぐ近くのところではなくて、ちょっと離れたところに通いたいという方もいらっしゃいます。男性の方は特に見られたくないという思いがある方もいらっしゃるので、人それぞれいろいろと事情があたりだと思えます。これはあくまでも私の現場でのお話になります。

林 委員… ありがとうございます。やっと意味が分かりました。

橋本 会長… ありがとうございます。よろしいですかね。事業所については、各種基礎調査では全数調査になりますから、そこも参考にされたらと思います。

⑤ その他

橋本 会長… それでは、その他について事務局から何かございますか。

計画・事業推進係 大嶽… 2点御連絡させていただきます。1点目が次回の協議会の日程についてです。次回は2月28日火曜日、午後7時より開始いたします。会場はこちらのいずみプラザ講座室となりますので、よろしく願いいたします。

2点目ですが、資料と同封してお送りしたアンケートについて、会議終了後に御提出いただきたいと思えますので、お帰りの際に事務局にお渡しいただきますよう、お願いいたします。

橋本 会長… いかがですか。今回、事務局からアンケートで大きな提案がございまして、オンラインでの会議について提案がありました。オンラインにするにしても、オンラインだけというわけにもいかないだろうと思えますが、どうですか、何か御感想はありますか。

升田 委員… 今日みたいな報告事項だったらオンラインで十分ですね。ただ、みんなの意見を聞きたいというか、流れの中で自分の意見をまとめるというのはやっぱりオンラインでないほうがやりやすいし、まとめやすいですよ。オンラインだと1人が話していると、ずっとその人が話しているとか、オ

オンラインで会議をやっているとなかなか進まないし、進め方が非常に難しいですね。運営をする段階で。ただ、1人ずつ意見を聞くような形のものだったらいいし、報告事項だったら特に問題ないと思います。そういう会議の内容によって選んでみてもいいかなと思いました。

橋本 会長… そうですね。北邑委員，会議の形式について何かございませんか。社協は会議が多いところで，社協も最近オンラインの会議にたくさん出ていますが。

北邑 委員… 確かに会長のおっしゃるように，ウェブでの会議が非常に多くなってきてはいるのですが，先ほど升田委員がおっしゃったように，議論するときにはオンラインよりも参集したほうが意見が出やすい傾向があるのかなと感じています。

それから，午後7時からということになると，オンラインだと参加をどこでしようかなと思いました。事務所は閉まってしまふかもしれないので，家に帰るには時間がかかるし，どこでやろうかなというのはちょっとありましたが，どちらでも。

内容で報告だけだったら，確かにオンラインでもいいのかなと思います。

橋本 会長… オンラインにしてもハイブリットにしないとにならないのではないかなという気もしたりするのですね。その日の会議のテーマにもよります。それはアンケートにお書きいただいていることだろうと思います。来年度のことでありますから，多分2月の運協のときに話題になるのですか。

佐瀬 係長… アンケートの集計結果については，2月28日開催の運協の際にお知らせをすることになるかなと思います。その上で，来年度どうしていくかというお話ができればとは考えておりますが，来月になるとちょっと期間がないものですから，その準備が整うかどうかは微妙なところになります。

先ほどお話の中で気になったところとしてお伝えしておくと，オンラインの会議を開催するにしても，会長がおっしゃっていたように，必ず全員オンラインにする予定は今のところ市としては考えておりません。あくまでオンラインのほうが御都合がよろしい方についてはオンラインでも参加できますよという形をとろうかなと考えていますので，よろしく願いいたします。

橋本 会長… 御了解いただければと思います。また，それについては論議を続けたいと思います。

3 閉会

橋本 会長… それでは，ちょっと時間が早いですが，これで本日の協議会を閉会させていただきます。お疲れ様でした。